

拝啓 貴社益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

日頃は格別のご愛顧賜り、誠にありがとうございます。

今回はシーケンサを安全にご使用いただくために保守時の留意事項などをご案内します。

敬具

■シーケンサを安全にご使用いただくために

データのバックアップは万全ですか

●プログラムを変更した時は、必ずデータのバックアップを行いましょう。

できれば、履歴でとっておくと便利です。壊れたときの復旧が少しでも早くなります。

●バックアップのサポートをいたします。(一部機種を除く)

当社ではお客様の大切なデータのバックアップもします。

また、図面化のお手伝いもします。

詳しくはお気軽にお問い合わせください。

【保守時の留意事項】

- 1, シーケンサを正常かつ最良の状態で使用していただくために、各ユニットのユーザーマニュアルに記載されている点検項目を参照し、日常点検・定期点検を確実に実施してください。
- 2, 長期間制御動作を行わないシーケンサシステムは、寿命・劣化故障による漏電絶縁不良などの事故を防止するために、システム(シーケンサ)の電源を必ずOFFにしてください。
- 3, シーケンサの耐用年数を経過する前に、予防安全の観点から、新しいユニットへの交換や最新シリーズのユニットへの置き換えなどを検討してください。

【予防保全の必要性】

予防保全の一環としての推奨交換周期は、一部のユニットは5年、

その他のユニットは5～10年を目安としております。

部品の種類により定まる年数(耐用年数)を経過すると、シーケンサの特性に支障をきたし、装置の動作不良や故障の原因となります。

一定期間を経過する毎に部品・ユニットの交換を実施することにより、装置の故障発生をできる限り防止することが予防保全の狙いです。

日常点検・定期点検を確実に実施することにより、シーケンサが故障に至る前兆を早期に発見できます。

【バッテリーについて】

CPUユニットや特殊機能、あるいはインテリジェント機能ユニットに内蔵のバッテリーは、電源断時および停電時にプログラム、パラメータ、制御データなどを格納したメモリの内容が消失しないようバックアップ(停電保持)するために用いられています。

バッテリー寿命は使用されているCPU・特殊機能ユニットなどユニット毎に異なります。

バッテリー容量が低下して電圧が規定値以下になるとバッテリーエラーが発生します。バッテリーエラーが発生してから数10時間から100時間程度の保持時間がありますので、その時間以内に速やかにバッテリーを交換してください。

●バッテリーの交換時期を制御盤の扉にわかるように明示しておきましょう。

お問合せ ★★★JOTO DIRECT★★★ 城東電機株式会社企画開発部

〒448-0034 刈谷市神明町4-515

URL www.joto-denki.co.jp/

TEL0566-21-4341 FAX0566-22-5053

E-mail joto@lilac.ocn.ne.jp